



「会社案内掲載用」編

名前の赤、  
電気炉の赤を取り入れた。  
ダークグレーのスーツ、  
白のワニシャツ、  
ペイズリー柄のネクタイなど、  
全体にコントラスト感のある  
色使いで  
パワースーツ  
(編集部注・クールなイメージで  
サクセスフルックとも呼ばれる)  
に仕立てた。



## 「ビジネス・オフ」編

ときおり学生時代の後輩と  
ゴルフやテニスを楽しむ  
赤見社長。  
ツイードのスーツと  
狩猟のモチーフ柄ネクタイの  
組み合わせ。  
スポーツを楽しむシーンに  
最適なコーディネート。  
暖かみのある  
チェックのニットタイもよい。

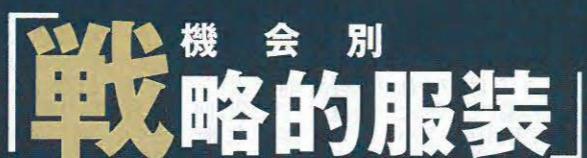


## 「社内ミーティング」編

ミディアムグレーの  
スースとライトブルー×黄色の  
ストライプタイの組み合わせ。  
緊張感を与える過ぎず、躍動感がある  
爽やかなVゾーンは  
技術者の発想力を高める。

## 「重要な商談」編

**炎**編 (ビジネスエグゼクティブの基本となる)  
ダークネイビーのスーツと落ち着いた  
紺×ベージュの  
アメリカンストライプタイの  
組み合わせ。  
自信と信頼感をもたらすための姿勢がわざわざ



赤見製作所  
赤見昌彦社長

人前で話すときは、演奏家が音楽を奏でるように3要素を決めればよいのです。3要素とはリズム、メロディー、ハーモニー。リズムはテンポよく躍動感覚をもつて話す。メロディーは主題。つまり話のテーマをしっかりと伝える。そしてハーモニーは調和。話の強弱、長さ、言葉の選択、声の大小、抑揚などあらゆるバランスがとれているか——この3つを極めればスピーチは完璧になります。

発表するし、す「い」とことを発表しているように聞こえる。子供のころから利点をアピールする訓練をしているためだ」と述べています。「目は口ほどにものをいう」といいますが、「話し方は（話の）内容以上にものをいう」のです。

「声が一本調子で抑揚がない」「原稿ばかり見る」「目を閉じてスピーチする」「姿勢が悪く両足でリズムをとる」「手を前で組んだままの状態」——中身がいくらよてもこれでは説得力がありません。また本人が気付いてないのでですが、2、3分のスピーチのなかに「まあ、えへ、あのう」が数十回も連続しているケースもあります。

テープやビデオを撮つてみる

スタイルを完璧に着こなす。ボーティ、そしてアメリカン・スナップ。京都、従業員約20名)を率いる赤見製作所(東京)の昌彦社長のファッショニコンセプト�다。以前からアイビールックを好み流行やブランドに左右されず、自身のファッショニコンセプトを貫く。また気に入つたシャツは同じ形・色を数枚揃え、ネクタイは好みの太さに直して身につけることだわり。「アイビースタイルをエグゼクティブの間に流行らせたのは、ジョン・F・ケネディといわれていますが、(赤見社長は)まさにアメリカンスタイルの王道です。米国のエグゼクティブが好んで

選ぶ、『ブルックスブラザーズ』のネクタイ、『ラルフローレン』のボタン、ダウニーシャツなど」と大森社長は評価する。

そしてオケージョン（機会）別戦略的服装のコーディネート、「社内ミーティング」「重要な商談」など4場面を設定し、赤見社長のファッショングコンセプトを基本に据えた。

まず「社内ミーティング」。同社では技術的なテーマを中心に関時社内会議を開いているが、「会議では従業員に緊張感を与える過ぎず、また社長の方針を明確に伝えることが重要」（大森社長）となる。こうしたことから考慮してミディアムグレーのスーツ

(エグゼクティブの基本となる)ダーニエイビーのスケッチと、落ち着いた紺×ベージュのアメリカンストライプタイの組み合わせだ。「現在、マイクロソフトCEO、スティーブ・ブルマー氏など米国IT業界のリーダーのビジネスポートレートも、この若々しいアイビースタイルです」(大森社長)

日の日本経済新聞で「欧米の

のほうを自分の言葉で発信  
自分の存在感をもって、相  
を説得していかなければな  
い時代です。

欧洲では小さいときからテ  
ベートの授業が取り入れらち  
ていますが、残念ながら日本  
ではまだ一部の学校で取り  
れられているだけです。受け  
ているといつても話し方教室  
程度で、ほとんどの社長が評  
すトレーニングを受けていた  
いといつても過言ではありません。  
しかし、「これからは各自アピーリ  
ルが求められます。このこと  
について先日ノーベル化学賞  
に輝いた田中耕一氏は10月11

# できるエグゼクティブになる 戦略的 イメージアップ 支援講座③

コーポレントアイデンティティ(CI)とともに、社長個人のパーソナルアイデンティティ(PI)の重要性が高まっている。そこで、このコーナーでは戦略的な服装、表情、話し方などPIのブラッシュアップ法を紹介する。今回は「すでにもっているワードローブを有効活用。新たに買わざともできるイメージアップ」がテーマ。赤見製作所の赤見昌彦社長に自宅からスーツ10着とネクタイ、ワイシャツ、それぞれ数十枚を持参してもらい、ビジネスシーン別にふさわしい戦略的な服装コーディネートについて、イメージコンサルティング会社・大森メソッドの大森ひとみ社長にアドバイスしていただいた。

と、ライトブルー×黄色のストライプタイを組み合わせた。「黄色は技術者の発想力を高め、ブルーはメッシュをクリアに伝えるカラーです。前ボタンを空けることでくつろいだ雰囲気を作りました」(大森社長)

# プロの教え スピードの大切さ 話し方は内容 以上にものをいう

大森メソッド  
大森ひとみ  
社長  
<http://www.ohmori-method.co.jp/>  
03-5458-4833